

表したいものへの思いをもち、自分らしい表現で伝えようとする子ども

— 中学2年「四角形から生まれる不思議な世界」の実践から —

1 授業の構想

(1) 子どものとらえについて

次の文章は、2年生生徒が授業で導入時に行った作品分析について書いたものである。

最初はどうやってできているか不思議だったけど、グループの人と分析することで、テーマやつくりを理解することができました。 (生徒A)

構成が綿密で、工夫の跡が見えました。また、メッセージ性もちゃんとあって、四角形からこんなことができるんだと思い、びっくりでした。でも自分はどんな風につくればいいのか悩みました。 (生徒B)

まさに四角形から生まれる不思議な世界でした。参考作品はとぼしたり展開したり、いろいろな方法で切り取ったパーツを使ってすごいなと思いました。自分もアイデアスケッチで切りたい形をたくさん描いてみたいです。 (生徒C)

このように、これからどんな作品を制作していくのかを実際に観て、触ってそして友だちと意見を交わしながら分析することによって、教師側から一方的に説明されたものを制作していくよりも思考力や判断力が高まり、より作品に対して入り込んでいけると考える。

本題材を制作する上でのルールはシンプルであるが、作品自体は非常に複雑で綿密なものに見える。生徒Aは話し合いによって本題材のテーマやルールなどをしっかり理解できた。一方、生徒Bはきちんと分析し、内容を理解しているが、発想力や構想力の面で不安を感じている。さらに生徒Cは興味・関心をもち、意欲的な様子が見える。ここではグループでかかわり合うことによって作品制作のルールを理解したり、次へのステップとして授業を展開したりすることができると思われる。

本学年の生徒は美術の授業に対して意欲的に参加し、集中して作品制作に取り組む生徒が多い。また、導入時の作品分析や制作途中での相互評価、完成作品の鑑賞など、グループ学習を多く取り入れることにより、お互いに高め合いながらよりよい作品を表現したり、追求したりすることができる

と考えている。そこで本題材の作品制作を通して、制作する楽しさや喜びを抱かせ、完成した作品のよさや美しさ、素晴らしさなどを感じさせるとともに、学級全体での学び合いや個人の学びを通して、自分らしい造形表現を追求していけるように授業を構想していきたいと考えている。

(2) 本題材の目標や内容と図画工作・美術科で考える思考力・判断力・表現力の育成との関わりについて

図画工作・美術における思考力・判断力・表現力といった力は、創造的な活動を通して創意工夫と試行錯誤を繰り返す一連の過程の中で育成されると考えている。本題材では、デザインの学習を通して新たな素材に出会ったり制作方法や新しく扱う道具の扱い方などを習得したりしながら、それぞれポイントとなるところでグループや学級全体での学び合いを取り入れ、かかわり合いながら、お互いに高め合って作品制作を行ったり、鑑賞したりすることをねらいとしている。

本題材では四角形の黒画用紙を切り取ったり切り抜いたりしながらそれらを組み合わせ、トータルカラーによる配色をして制作していくなど、さまざまな要素を含めた学習を展開していく。その中で、グルー



参考作品

プでかかわり合いながら作品分析を行う場面では、思考力や判断力を生かしたりしながら対象となるものから感じ取り、今後の作品制作に活用することができると考えている。また、グループや学級全体での鑑賞の場面がいくつかあるが、工夫したところや作品のよさなどを直感的に感じたり、お互いに話し合ったりする中で、思考力や判断力が育成され、教科の特性として最も強く主張される表現力にもつながっていくものとする。具体的には、形や色彩、表現方法などを言葉で仲間に伝えることができたり、仲間の表現からよさや素晴らしさを文章で伝えることができたりすることをめざしている。さらに、表したいイメージを基に、形や色彩、表現方法などの性質やそれがもたらす効果について考え、構成や配色による創意工夫・試行錯誤を繰り返す中で判断する。そして自分の思いを表現として仲間に伝える取り組みを通し、思考力・判断力・表現力を育成できるのではないかと考える。

(3) 11年間で育てる思考力・判断力・表現力の育成に関する学び合う場面の構想について

思考力・判断力・表現力の育成に向けて、中等部では課題解決の過程の中で評価・改善の場を設定し、ふりかえりの活動を通じて自分がどのような工夫をし、そこに何を反映させたかを言語化させていく。言語化することで自分の考えなどを確認し、整理することで意図が明確になっていくと考える。また、教師側からお互いの作品や取り組みに対して評価し合ったりアドバイスを交換し合ったりするかかわり合いの場を意図的に設けることにより、生徒たちは思いを巡らし、判断し、そして表現が高まっていくものと考えている。具体的に、かかわり合いの活動の中で思考力・判断力・表現力を育成するために次のような取り組みを行う。そしてワークシートや発言等から評価した上でより高め合い、作品制作や言語活動へとつなげていくものとする。

①グループや学級全体での作品分析

参考作品を鑑賞し、使われている素材やこの作品を制作する上でのルールを分析してグループで話し合う。その結果をホワイトボードにまとめて学級全体で共有する。様々な意見の中から共通の意見や重要な意見などを判断しながらまとめることで、課題解決に向けての学びを共有させたいと考えた。

②グループでの意見交換

本制作に向けての練習の意味合いのあるミニチュア制作だが、この制作で自分が感じたことや困っていることをグループの仲間に伝え、それに対してよかった点やアドバイスを伝え合うものである。グループで思考力や判断力を高めるため、教師側から意図的に設ける話し合い活動である。これによって本制作に生かすことができたり、表現力を高めていったりするものと期待する場面でもある。

③グループや学級全体での鑑賞会

完成作品の鑑賞では、これまでの活動をふりかえり、どのようなことを考え、判断し、表現したかを伝え合うために、グループでの鑑賞と学級全体での鑑賞を行う。まず、グループ全員の作品について制作者がプレゼンテーションを行い、その作品に対して肯定的なコメントを書き、交換する。学級全体での鑑賞は、制作者のプレゼンテーションに続き、同グループからコメンテーターを選出し、その作品についてのコメントを発表する。自分がその作品から感じたことや考えたこと、友だちの表現から読み解き判断したこと（学ぶべきよい点や改善すべき点）、それをどのような記述で伝えればよいかについて考えさせて取り組ませる。一連のかかわり合いの活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成していきたい。

2 展開計画

| 次 | 主な学習 | 時 | 具体的な学習・内容（◇はグループまたは学級全体の学び合いの場面） |
|---|--|---|--|
| 1 | 【参考作品の分析】 ・作品について分析する。 ・グループで話し合う。 ・学級全体で発表する。 | 1 | ・使われている素材やこの作品を制作する上でのルールについて分析し、理解する。 ◇参考作品についてグループで分析し、学級全体で共有し合って作品の仕組みや表現方法について気づく。 |

| | | | |
|---|--|------------------|--|
| 2 | 【アイデアスケッチ】 ・作品のアイデアスケッチを行う。 | 2 | ・四角形の一辺から展開させたり，中央部分のパーツを飛ばしたりしながら図案を考える。 ・トータルカラーによる画面の配色を考える。 |
| 3 | 【ミニチュア作品制作】 ・道具の使い方を学習する。 ・ミニチュア作品を制作する。 | 3 4 | ・デザインナイフとカッターナイフの特徴や使い方について学習する。 ・1辺5cm程度の黒画用紙を用い，ミニチュア作品を制作する。 |
| 4 | 【ミニチュア作品の鑑賞・意見交換】 ・ミニチュア作品について振り返る。 ・グループで意見交換を行う。 | 5 | ・グループでミニチュア作品を鑑賞し合い，意見交換を行う。 ◇ミニチュア作品を制作した上で，自分が感じたことや困っていることをグループの友だちに伝え，それに対してよかった点やアドバイスを伝え合う。 |
| 5 | 【本制作】 ・黒画用紙の形を決める。 ・下描きをする。 ・切り取る（切り抜く）。 ・トータルカラーを配色する。 ・スケッチブックに貼り付ける。 | 6 7 8 9 | ・黒画用紙を四角形（正方形，平行四辺形，台形など）に切る ・アイデアスケッチを基に鉛筆等で下描きする。 ・曲線や細部を切るのに有効なデザインナイフと直線を切るのに有効なカッターナイフをそれぞれ使い分けて黒画用紙を切り取る（切り抜く）。 ・トータルカラーを配色し，スケッチブックに貼り付ける。 |
| 6 | 【完成作品の鑑賞】 ・グループ鑑賞を行う。 ・学級全体で鑑賞を行う。 ・ふりかえりをする。 | 10 | ・グループ（5～6人）で鑑賞し合い，メッセージを交換する（発表者の作品のよいところを見つけてメッセージを書く）。 ◇他のグループにも紹介したい作品を各グループで選んで学級全体場で発表し，それに対してよかった点などを伝え合う。 ・作品制作をふりかえり，プリントにまとめる。 |

3 「学び合い」による思考力・判断力・表現力の評価

題材の構想において設定した学び合いの場面を中心に振り返りやアンケートを取り，どのような意図でどのように表現したいのかなどについて「掘り下げる」問いかけをしたことや発想や構想の幅を広げていくために教師側から「提案する」はたらきかけなどが，生徒の思考や判断にどのような影響を与えたのかを分析した。また教師側のかかわりや生徒同士のかかわり合いが互いにどのような効果をもたらしたのか，そして教師のはたらきかけが生徒の変容に有効にはたらいたのかを検証していく。

学び合いを構想した時間については下記の評価規準に基づいて，生徒のワークシートやふりかえりをもとに，思考力・判断力・表現力がどのように高まったのかを評価する。そして学び合いの有効性についても考えていきたい。

| 次 | 時 | 学習活動 | 学習活動における具体的な評価規準 | 評価資料 | 評価基準 | | |
|---|---|---|--|------------------|---|--------------------------------------|------------------------------------|
| | | | | | A | B | C |
| 1 | 1 | 参考作品についてグループで分析し，学級全体で共有し合って作品の仕組みや表現方法について気づく。 | 参考作品を鑑賞し，使われている素材や作品を制作する上でのルールを分析している。 | 発表 ふりかえり | 使われている素材や制作する上でのルールを参考作品から分析し，説明している。 | 使われている素材や制作する上でのルールを参考作品から分析している。 | 使われている素材や制作する上でのルールを参考作品から分析していない。 |
| 4 | 5 | ミニチュア作品を制作した上で，自分が感じたことや困っていることをグループの友だちに伝え，それに対してよかった点やアドバイスを伝え合う。 | 自分の作品について振り返り，グループの友だちの作品にコメントやアドバイスをしている。 | スケッチブック ふりかえり | 自分の作品について振り返り，グループの友だちの作品にコメントや的確なアドバイスをしている。 | 自分の作品について振り返り，グループの友だちの作品にコメントをしている。 | 自分の作品について振り返った友だちの作品にコメントをしない。 |

| | | | | | | | |
|---|----|---|---|-----------------|---|---------------------------|---------------------------|
| 6 | 10 | 他のグループにも紹介したい作品を各グループで選んで学級全体の場で発表し、それに対してよかった点などを伝え合う。 | 作品に対してよかった点や工夫している点など、よいところを見つけてコメントを書き、交換する。 | ワークシート ふりかえり | 作品に対してよかった点や工夫している点など、よいところを見つけてコメントしている。 | 作品に対してよいところを見つけてコメントしている。 | 作品に対してよいところを見つけてコメントできない。 |
|---|----|---|---|-----------------|---|---------------------------|---------------------------|

4 授業の実際

(1) 参考作品を分析する (第1次)

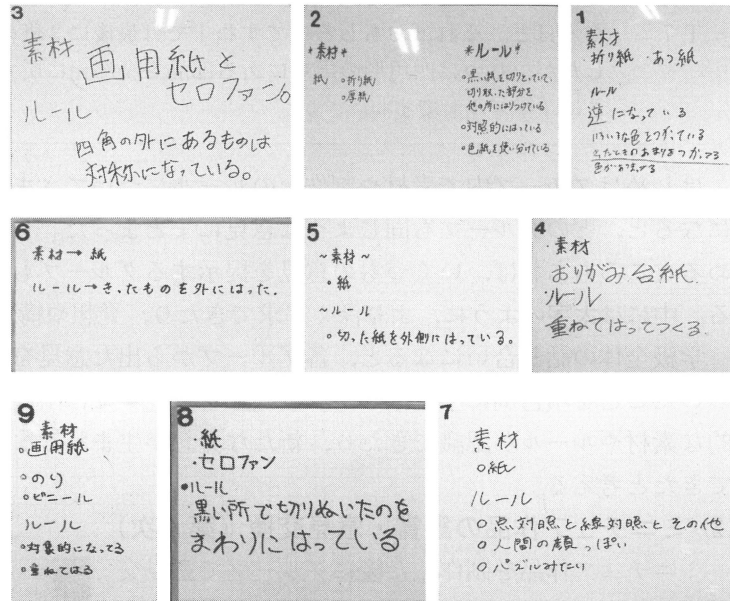
本題材では参考作品をグループごとに分析し、発表し合う場を設けることによって、より思考力や判断力が身につくと考えた。

まず参考作品を鑑賞し、使われている素材や制作する上でのルールをグループで話し合い、ホワイトボードにまとめていく。学級全体のかかわり合いとして、全てのグループに発表させ、みんなで共有していくことにした。

本題材は四角形の黒い画用紙を切ったり切り抜いたりしながらさまざまな形や文字、模様などをつくり、切り抜かれた部分やその部品などを組み合わせて不思議な世界を画面構成していく題材である。

切り取ったり切り抜いたりしてできた全ての部品を使って一つの作品を制作するといった条件で展開していくため、発想力や創造力も養われると考える。

以下はその場面の授業記録である。



各グループで分析した結果

学級全体での話し合いの授業記録

グループごとに参考作品を分析したものが黒板に貼られている。

T 1 それでは先ほどグループごとに参考作品を配りましたが、それぞれ分析できたようですね。では1班からその結果を発表してもらいましょう。

生徒A 素材は折り紙と黒い厚紙を使っていると思います。ルールは辺に対して模様が逆になっています。また、いろいろな色を使っていました。あと、部品は切った時のあまりを使っています。

T 2 なるほど。いろいろな意見が出ましたね。では次に2班お願いします。

(中略) 同じように9班まで発表

T 3 すべての班に作品について分析したことをまとめて発表してもらいました。まずは「素材」について確認していきましょう。

黒い紙については厚紙、台紙、紙、画用紙といろいろな意見が出ました。みなさんはどう思いましたか？

生徒B 紙には違わないけど、画用紙なのか特殊なものなのかちょっと分かりにくかったです。

生徒C 触ってみた感じは画用紙に似ていました。普通の紙よりはちょっと厚いので画用紙だと思います。

T 4 いろいろ詳しく見てくれましたね。これは黒い画用紙です。また、みなさんが色紙と分析したカラフルでいろいろな色のついた紙はトータルカラーという素材です。実は50色もあるので、みなさんにも1セットずつ配ります。楽しみにしておいてくださいね。では次に、この作品がどのようなルールの下でつくられているか考えてみましょう。みんなの発表の中で多かったものに「点や線で対象になっている」というものがありました。他の班の人はどうですか？

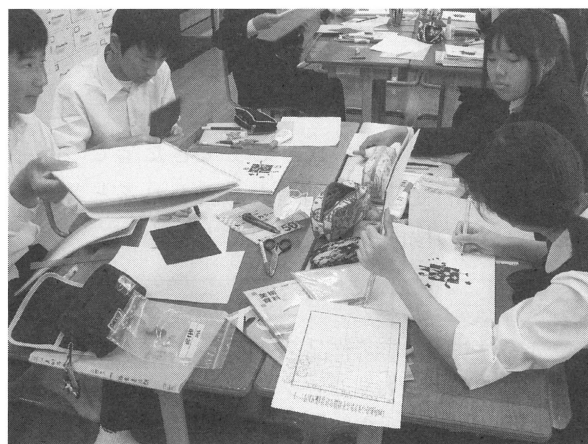
- 生徒D 今、その意見が分かりました。四角形の辺に沿って形や模様が対象になっています。
- T 5 みなさんは四角形が隠されているのが分かりましたか？
- 生徒E どこが四角形になっているか（複雑すぎて）分かりませんでしたでしたが、教えてもらって分かりました。
- T 6 そうですね。実はどの作品も四角形が基の形になっています。その端（辺）に模様を描いて切りとったものをパタンと外側に開いて貼り付けています。みんなよく気づきましたね。
- では次に「切り取ったものを外に貼っている」という意見もありました。これについてはどう思いますか？
- 生徒F 四角形の辺以外にある模様は外側の空間に貼ってあります。
- 生徒G それぞれの部品を合わせて他の形を作ってみるのもいいかもしれません。
- T 7 なるほど。それはおもしろいですね！では最後に3班の意見で「パズルみたい」というのがありましたが、じつは四角形の周りにある部品を全部元に戻すと一枚の黒い四角形の紙になるんです。まさに「パズル」ですね。

はじめはグループ内で素材や制作上のルールについてさまざまな意見が交わされたが、まとめる段階になると、どのグループも同じような意見にまとまった。しかしグループによっては簡単に一言でまとめるところもあれば、いくつもの意見を提示するグループもあり、気づきの面で差があったように感じる。中には太字のように、より深く追求できたり、発想や構想へとつなげていったりすることもできた。

学級全体の話し合いになると、各グループから出た意見を教師側の方で集約し、分析した結果から気づいたことを項目別に挙げさせた。個人やグループでは出なかった意見や新たな気づきなど、より具体的な素材やルールが認識できたり、新たな発想が生まれるなど、思考力や判断力の成長に生かすことができたと考える。

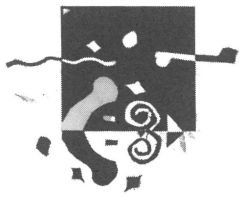
(2) ミニチュア作品の鑑賞・意見交換（第4次）

ミニチュア作品を制作した後にグループで意見交換を行った。ミニチュア制作には本制作に向けての練習の意味合いがあり、小さめの画用紙を用いて制作するものである。通常であればアイデアスケッチを行った後に本制作を行うが、初めて使用する道具や、素材を前もって扱うことにより、本制作に向けてのイメージもわきやすいし、何より一度経験したことによって技能も飛躍的に向上すると考える。意見交換では、この制作で自分が感じたことや困っていることをふりかえり、グループの友だちに伝えた後、それに対してよかった点やアドバイスを伝え合うものである。グループで思考力や判断力を身につけるため、教師側から意図的に設ける話し合い活動である。これによって本制作に生かせたり、表現力も高まっていったりするものと期待する場面でもある。



友だちの作品にコメントを書いている様子

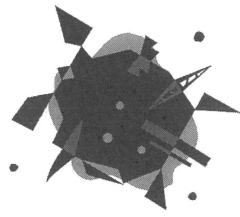
次頁の作品について、ミニチュア制作を終えての感想と、グループの友だちからのコメントやアドバイスを記載している。制作してみた率直な感想や、友だちからのアドバイスなどを生かし、A-1の作品からA-2の作品に、またB-1の作品からB-2の作品に発展した。A-1では本人が色の少なさを反省点として挙げているが、友だちからは逆にアクセントとして目立つのでいいと認められている。また教師側から展開するパーツを増やしてみたり、色の使い方も工夫してみるように助言した。それによりA-2では色についてこだわり、ポイントとなる部分にアクセントとなるような配色を考えた。B-1では基本的な形を切り取り、バランスを考えながら配置している。コメントでは細かい部品を多く取り入れたり、トータルカラーの使い方についてアドバイスももらっている。教師側から切り抜いたパーツを飛ばす際に動きが感じられるような表現にしてみるように助言した。それによりB-2では多数のパーツをつくり、配置についてこだわりながら制作を進めたり、同系色をうまく組み合わせながら配色したりした。



生徒作品A-1

テーマ：海の中のモナリザ
 感想：もっとたくさん色を使えばよかったです。デザインナイフが思ったより難しく、切り口がきれいではないのが残念です。

コメント
 ・小さいパーツがたくさんあっていいと思いますよ。1つだけ黄色い（色がついている）のもいいと思います。（生徒D）
 ・色が少ないから余計に黄色が目立つのでいいと思います。本番もがんばって！（生徒E）
 ・顔のような形があってすごいと思いました。このアイデアを本番でも生かしてください。（生徒F）



生徒作品B-1

テーマ：月の基地
 感想：練習だったので直線や円など、簡単な形を切りました。とても面白かったです。本制作が楽しみになりました。

コメント
 ・デザインや色合いにとってもセンスを感じました。（生徒G）
 ・テーマ性が感じられるなと思いました。さらに細かい部品がたくさんできるといいと思います。（生徒H）
 ・切った形に合わせて色がついていて、トータルカラーの使い方に工夫が見られました。本番もこのやり方でするときれいだと思います。（生徒I）

以下のアンケート結果は第1次の参考作品を分析した後にとったものと、第4次のミニチュア作品の鑑賞・意見交換を行ったあとにとったものである。①については、自分では気づかなかったことや友だちからの意見によって感じ方が変わったりする部分もあり、かなり高い数値になっている。また②、③については、自分の意見や思いを伝えることができたり、これから自分が制作していく作品のイメージが思い描けたりしている生徒が増加している。最も数値の低かった④は、今後の制作について計画的な作業ができるかどうか不安を感じている生徒が多いものと感じた。要因として、参考作品のレベルの高さやミニチュア制作での苦戦などが考えられる。

本制作の前にグループでの参考作品の分析や、ミニチュア制作に対する意見交換といった、かかわり合いによる学習活動を取り入れたことにより、作品のイメージを描きやすくなったり、画面の構図や色彩構成の仕方などが向上したりと、教師側の意図的な授業展開によって、多くの生徒が自分自身の変容を認識することができたと感じる。また、かかわり合いの中で仲間から認められることで、自分の表現に自信をもって取り組むことができ、自分の表現したいイメージがより明確になっていったように思う。仲間の作品から積極的に表現のよさや工夫を感じ取ろうとする姿も見られた。

5 成果と課題

課題解決に向けた学び合いを通して思考力・判断力・表現力を育成するために一連の活動を通して、かかわり合いによる話し合いや鑑賞の機会を設けたことで、制作方法や表現に対する意欲を高めていくことができたのではないかとと思う。さらに、思考力・判断力・表現力を高めていくための教材やワークシートなどの開発、工夫も必要であると感じた。

（文責 錦織 秀行）



生徒作品A-2



生徒作品B-2

■参考作品の分析後のアンケート結果

- ①参考作品の表現のよさが理解できた・・・・・・・・・・95.4%
- ②意見交換で表現したいことがはっきりしてきた・・・・・・・・80.1%
- ③意見交換で自分の考えや思いを伝えることができた・・84.6%
- ④次の活動でやりたいことがはっきりしている・・・・・・・・57.3%

■ミニチュア作品意見交換後のアンケート結果

- ①自分や友達作品のよさが理解できた・・・・・・・・・・96.6%
- ②意見交換で表現したいことがはっきりしてきた・・・・・・・・82.1%
- ③意見交換で自分の考えや思いを伝えることができた・・88.0%
- ④次の活動でやりたいことがはっきりしている・・・・・・・・68.4%